

35

難波地区社会福祉協議会

地区の概要

面積	9.44km ²	
人口	2,187人	
世帯数 (1世帯当たりの人口)	865世帯(2.5人)	
高齢者数(高齢化率)	720人(32.9%)	
民生委員・児童委員 (主任児童委員)	5人(2人)	
町内会・自治会・ 区長会等	6ヶ所	

難波地区は高縄山系から北側に連なる恵良山や腰折山の麓と瀬戸内に面した豊かな自然に包まれ、伝統ある歴史・文化が継承されてきたのどかな農山村地域である。近年は65才以上の人口が29%以上を占める高齢化地域であるが、郷土芸能(伊予万歳・大正琴・詩吟など)活動が活発に行われている。また、子どもたちによる、どろんこまつり、相撲大会など、子どもたちから高齢者までを視点にした生涯学習が展開され、「ひとが輝きまちが輝く いきいき難波」を基本理念に、難波に住んで良かったとお互いが思えるまちづくりを目指し展開している。

地区社協の概要

主な活動拠点	難波地域活性化センター
構成メンバー	会長(1名)、副会長(2名)、事務局長(1名)、会計(1名)、理事(10名)、評議員(19名)、監事(2名)、援護部長(1名)、啓発調査部長(1名)
理事会等の開催	理事会(年2回)、評議員会(年2回)
構成関係団体	民児協、公民館、広報委員会、公民館運営審議会、交通安全協会、青少年健全育成協議会、保育園、高齢クラブ、JAえひめ、小学校地域包括支援センター、スポーツ少年団
主な自主事業	地域福祉サービス事業、ふれあい・いきいきサロン事業、福祉学習事業、世代交流大会、ふれあい給食サービス、施設訪問、福祉だより作成、地域交流餅つき大会、独居高齢者訪問 ほか
サロン数	ふれあい・いきいきサロン 3ヶ所
地域福祉活動計画の策定状況	平成25年度までに策定予定